



## 18000-XNR -KOSO CIVIC SPORTS EXHAUST SYSTEM

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。  
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。  
本製品は一般公道上でご使用いただく為、保安基準に適合する様、開発・製造されております。  
《交換用マフラー事前認証制度によって認定登録された商品です。》

### ⚠️ ご注意

- 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
- 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。  
[適合車種] CIVIC 5BA-FL1  
6BA-FL1  
[性能等確認済表示番号] JQR 30214114  
L15Ct
- 適合車種に正しく装着された場合は、改造申請不要です。
- 本製品の車両への取り付けは、サービスマニュアルと本書に従って、自動車整備工場やホンダディーラーで行って下さい。
- 本製品のホンダ純正用品との同時装着の可否については、原則として未確認です。
- 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
- 他の型式の車に取り付けますと保安基準に適合しなくなり、車検に合格しなくなるばかりか大変危険ですのでお止め下さい。
- 組み付け不良・外れ・経年劣化等により、マフラーの性能を十分に果たさないと判断された場合、車検に合格しないことがあります。販売店に相談し新品に交換して下さい。
- 作業環境として20℃以上の温度が保てる場所での作業を推奨します。
- 両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後は最低1日以上水が掛からない様にして下さい。
- 無限パフォーマンスダンパー®を同時装着する際は、無限パフォーマンスダンパー®の取付・取扱説明書をご参照下さい。

本製品は、第一種後付消音器性能確認済マフラー（\*）です。  
性能等確認済表示番号プレートはサイレンサー下面に付いています。

JQR 30214114  
L15Ct

（\*）第一種後付消音器性能確認済マフラー

国土交通省が認可した審査機構で、近接騒音、加速走行騒音を試験し確認されたマフラーです。  
持込登録時や車検時にはこの性能等確認済表示番号プレートを確認されます。

この取付・取扱説明書は、組み付け後・納車時に必ずお客様にお渡し下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-TEC 商品事業部

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

## 取り付け作業者及び、使用されるお客様へのご注意

### 【火傷に注意】

- ・ エンジンがかかっているとき、及び停車直後のマフラー本体は非常に高温となります。  
特にテールパイプ部は車体の外に露出しているため体に触れやすく、触れると火傷の危険がありますので十分に注意して下さい。  
また、停車する際は近くに燃えやすいものが無いことを確認して下さい。

### 【排気ガスに注意】

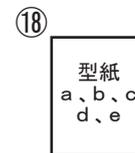
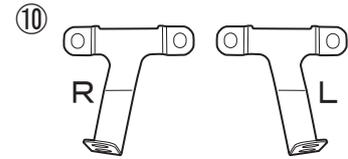
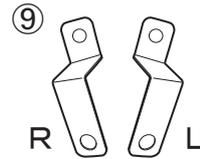
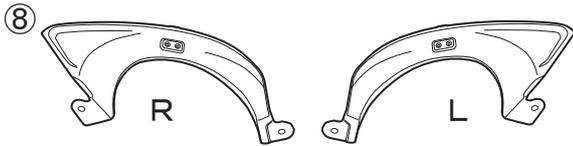
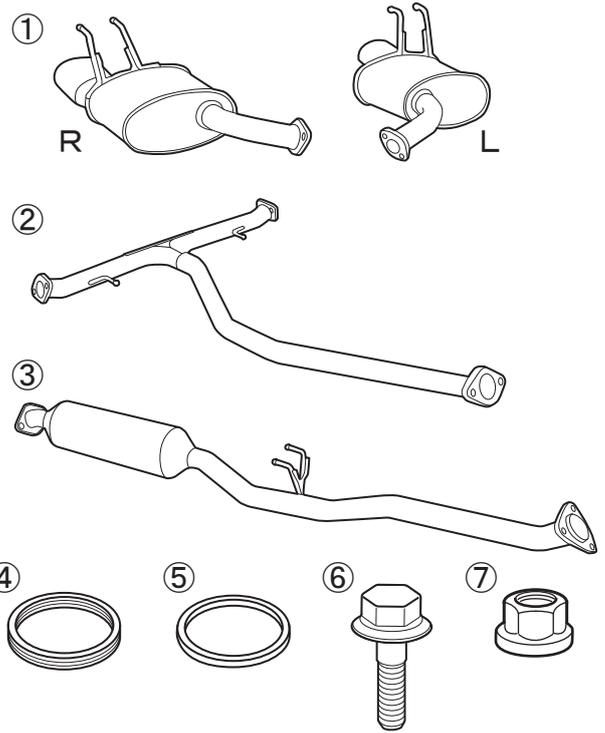
- ・ 自動車の排気ガスには人体に対して有害な成分が含まれています。直接、排気ガスを吸い込まないようにして下さい。
- ・ アイドリングをしたまま仮眠をしたり、閉め切った車庫の中でエンジンをかけ続けたりすると、一酸化炭素中毒を引き起こす危険性があるため行わないで下さい。

### 【取扱の注意】

- ・ 車体の保管場所の状態（塩分や湿気の多い場所等）や運転状況によって、マフラーが腐食して穴があいたり消音性能が低下したりする場合があります。そのまま使用を続けると排気ガス漏れを起こして大変危険です。直ちに修復等を行って下さい。
- ・ 本製品は錆びにくいステンレス材を用いて製作されていますが、マフラーの高温による負荷のもとでは錆びや劣化が早まることがあります。
- ・ 車高を極端に下げる改造を行うと、凹凸路面や縁石などの突起物にマフラーが接触して破損する恐れがあります。法規で定める最低地上高（90mm）を確保し、十分注意して運転して下さい。
- ・ 洗車の際に排気管の出口より水が入らないように注意して下さい。マフラー内部に水が溜まると、本来の性能を発揮できずに十分な消音ができなくなります。  
また、長時間のアイドリングや空ぶかしも、エンジンの燃焼ガスに含まれる水蒸気によってマフラー内に水が溜まりやすくなる原因となりますので行わないで下さい。
- ・ 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

## 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	リアサイレンサー (R/L)	各1
②	リアパイプ	2
③	中間パイプ	1
④	ガスケット	3
⑤	ガスケット エキゾーストパイプ	1
⑥	フランジボルト (M10)	6
⑦	セルフロックナット	9
⑧	マフラーガーニッシュ (R/L)	各1
⑨	ブラケットA (R/L)	各1
⑩	ブラケットB (R/L)	各1
⑪	ボルト (M8)	4
⑫	スクエアヘッドボルト	2
⑬	クリップナット	2
⑭	クリップA	2
⑮	クリップB	2
⑯	クリップC	2
⑰	PACプライマー K-500	1
⑱	型紙	1
⑲	取付・取扱説明書	1



本書本文中の使用部品番号は  
構成部品表に準じます。

取付・取扱説明書の【性能等確認済表示番号】とサイレンサー本体の  
【認定プレート】の番号が同一か、確認して下さい。

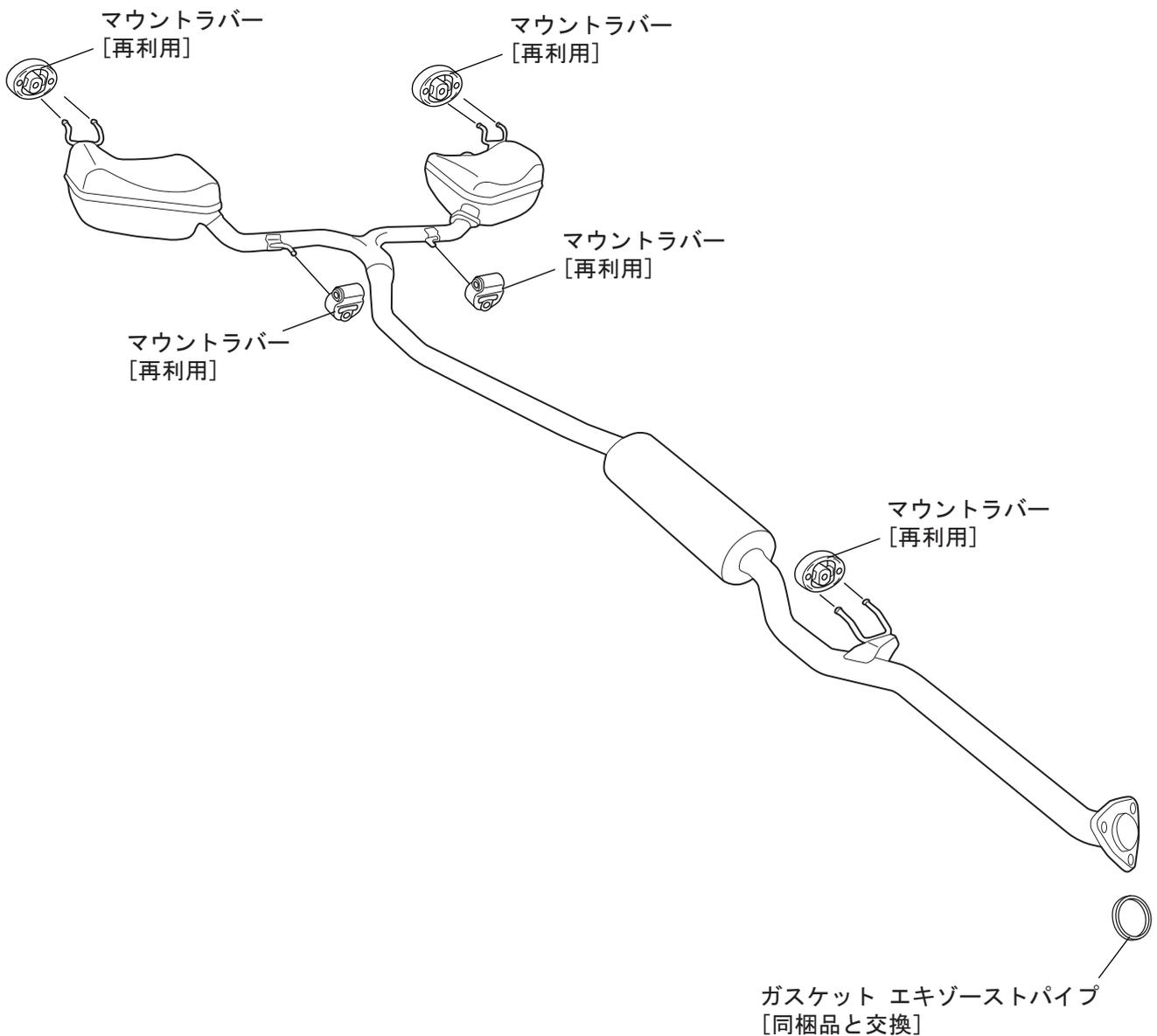
## 【必要工具】

- ・ボックスレンチ10mm、12mm、14mm ・ボックスレンチエクステンション
- ・メガネレンチ12mm、14mm ・トルクレンチ ・ドライバー +
- ・クリップリムーバー ・ドリルφ3、φ7、φ10、12 ・エアソー ・ヤスリ
- ・ハサミ ・キリ ・イソプロピルアルコール ・ウエス ・マスキングテープ

## I. 無限スポーツ エキゾースト システム取付準備

- 《注意》・サイレンサー及び車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・ボルト・ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
  - ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
  - ・作業は他の人に保持してもらいながら行う事。

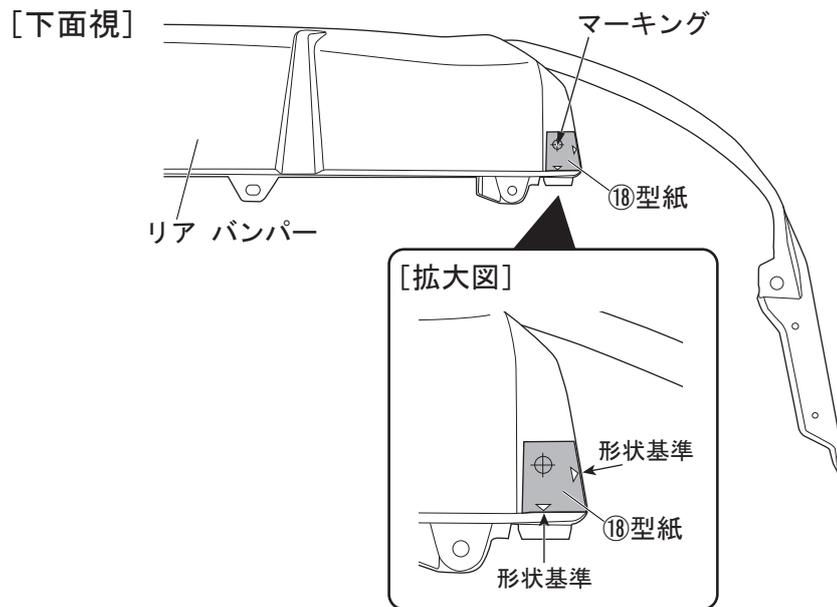
1. サービスマニュアルに従って、サイレンサーを取り外す。  
その際に取り外したマウントラバーは再利用する為、紛失や破損に注意すること。



## II. マフラーガーニッシュ取付準備

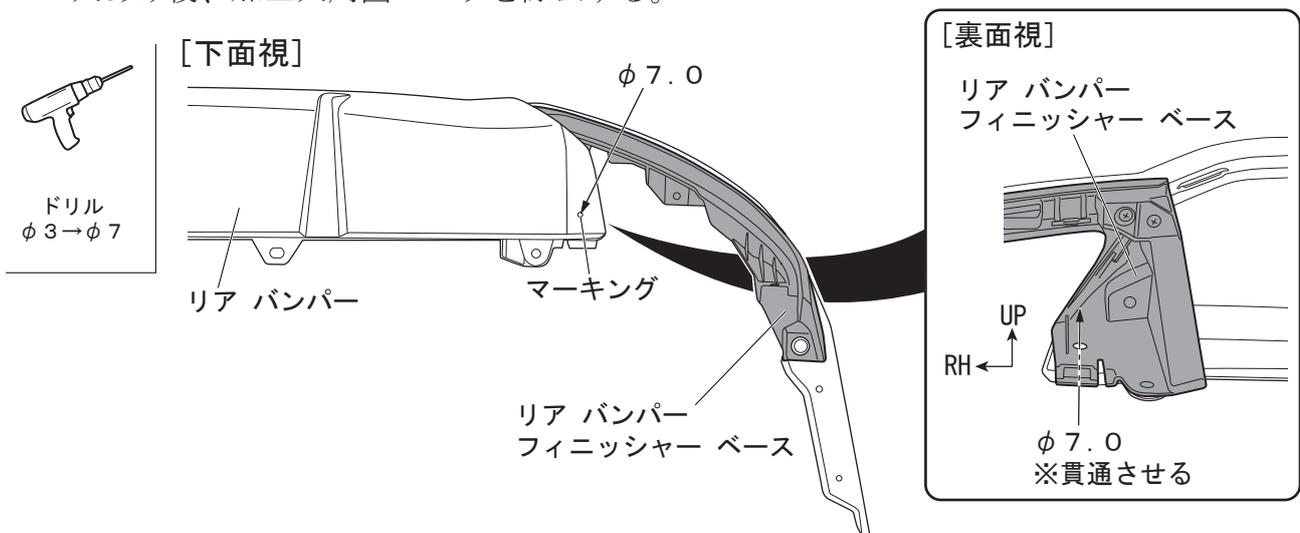
- 《注意》・マフラーガーニッシュおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。  
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。  
・作業は左右同様に行うこと。

1. 車両からリア バンパーを取り外す。(サービスマニュアル参照)
2. リア バンパーからエキゾースト フィニッシャーを取り外す。  
(サービスマニュアル参照)  
※エキゾースト フィニッシャーは再利用しません。
3. リア バンパー下面の図示位置に⑱型紙を使用し、穴あけ位置をキリで片側1ヶ所マーキングする。  
マーキング後、⑱型紙を剥がす。



※L側も同様

4. リア バンパー下面のマーキング位置に $\phi 7.0$  ( $\phi 3 \rightarrow \phi 7$ ) の穴を片側1ヶ所あける。  
その際にリア バンパー フィニッシャー ベースを貫通させるように穴あけすること。  
穴あけ後、加工穴周囲のバリを除去する。



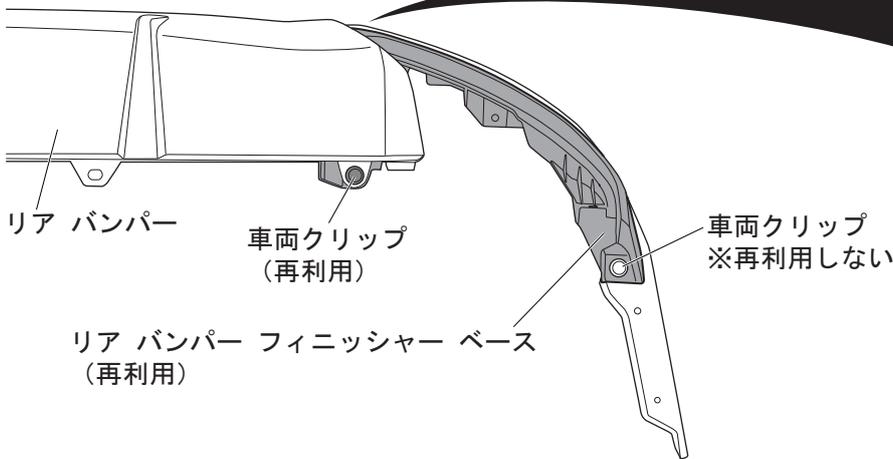
※L側も同様

5. リアバンパーからリアバンパーフィニッシャーベースを取り外す。

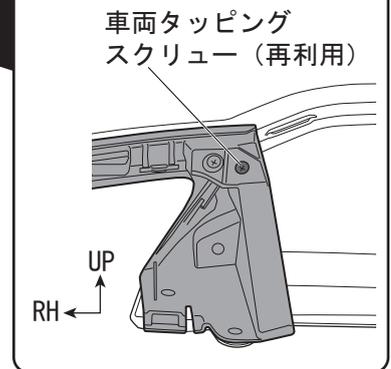
(サービスマニュアル参照)

※リアバンパーフィニッシャーベース、図示車両クリップ、タッピングスクリューは再利用します。

[下面視]



[裏面視]



※L側も同様

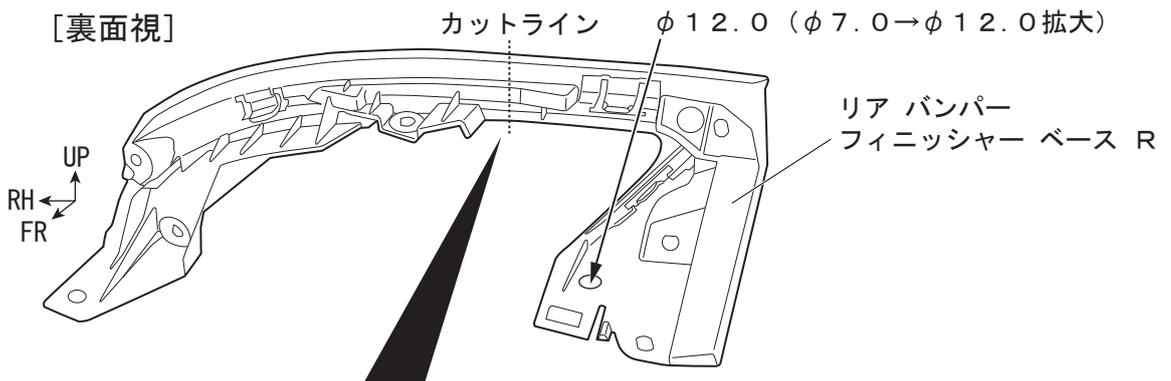
6. リアバンパーフィニッシャーベースを下図のように切除加工し、II-4であけた $\phi 7.0$ 穴を $\phi 12.0$ に拡大する。

加工後、切除部および $\phi 12.0$ 穴周囲のバリを除去する。

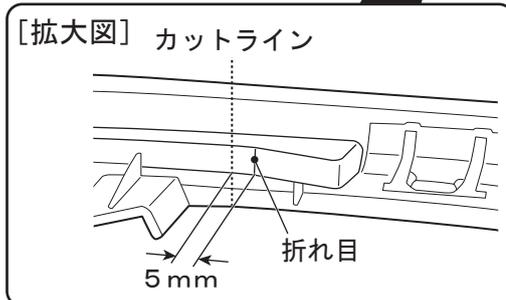


ドリル  
 $\phi 12$

[裏面視]

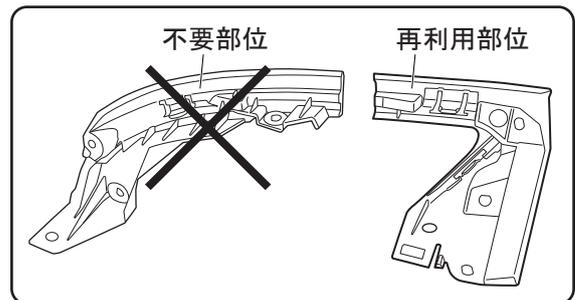


[拡大図] カットライン



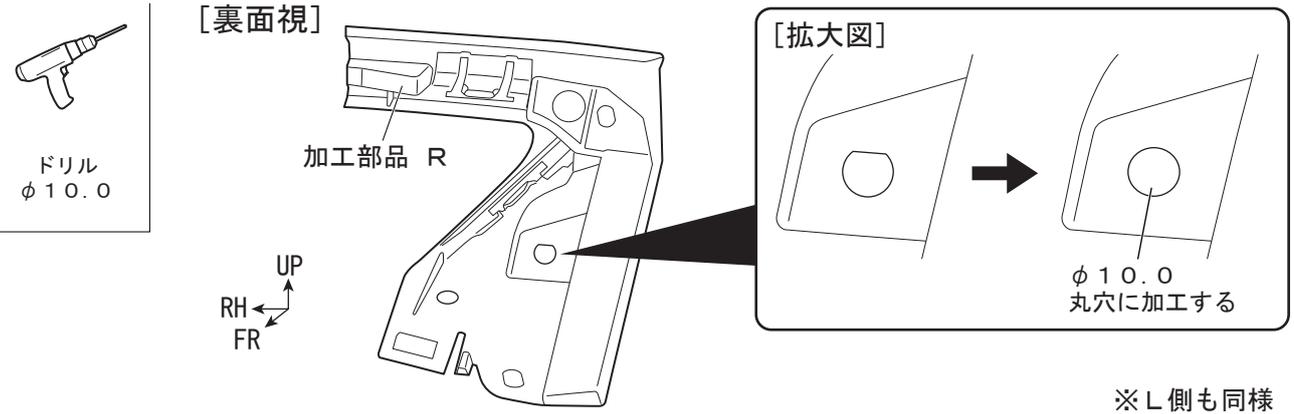
不要部位

再利用部位

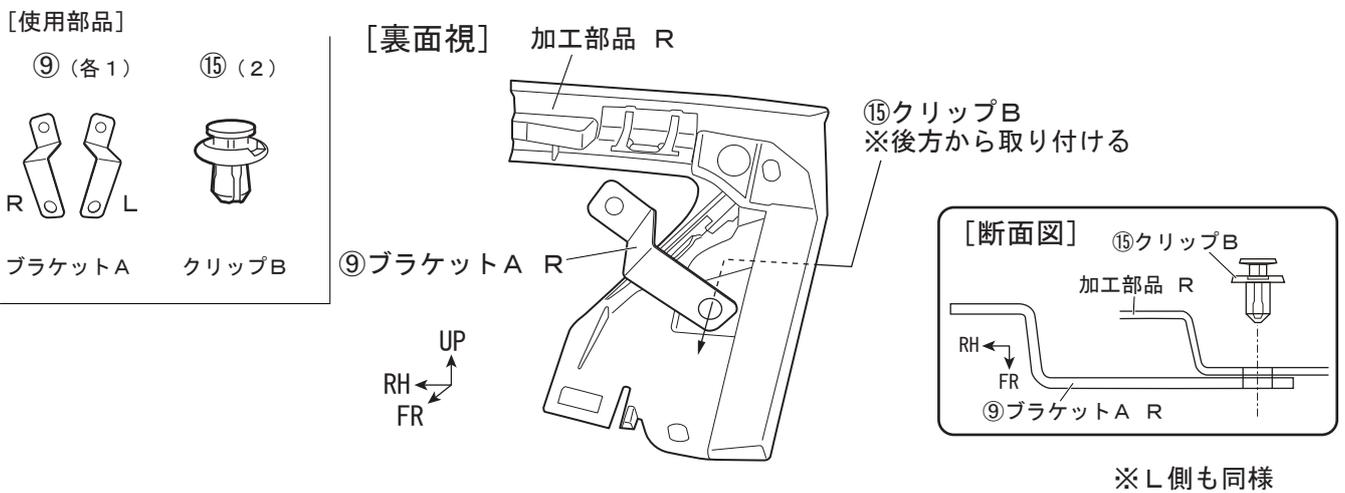


※L側も同様

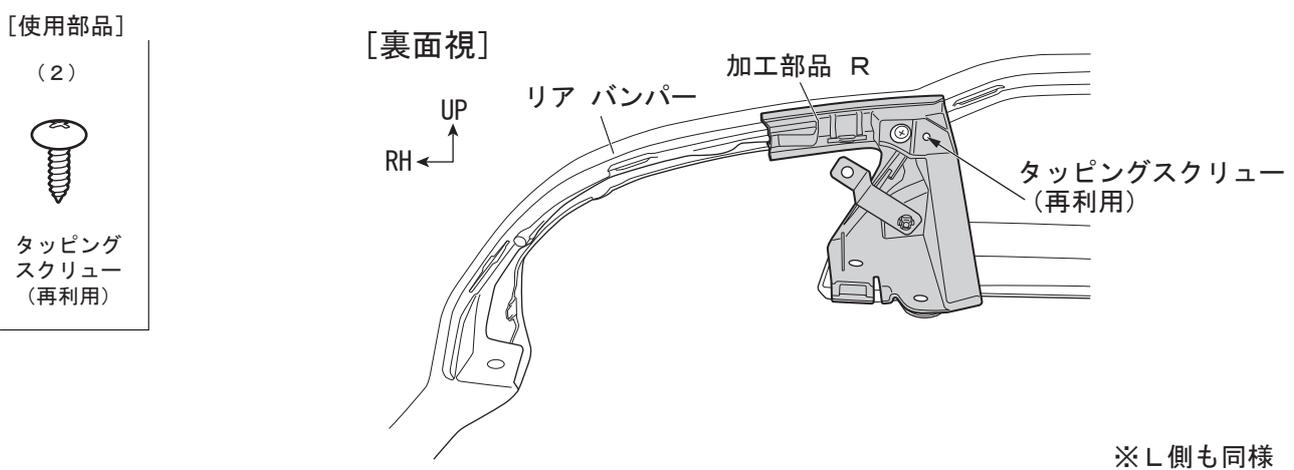
7. リアバンパーフィニッシャーベース加工部品の図示穴をドリルでφ10.0丸穴に加工する。加工後、穴周囲のバリを除去する。



8. リアバンパーフィニッシャーベース加工部品に⑨ブラケットAを⑮クリップBで取り付ける。



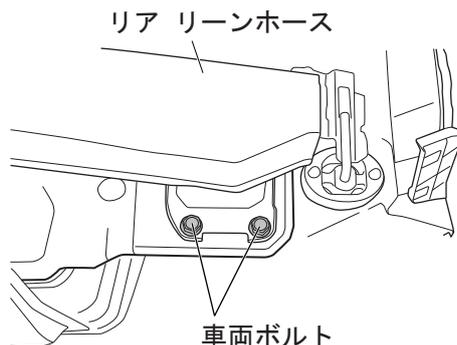
9. リアバンパーフィニッシャーベース加工部品を車両タッピングスクリュー（再利用）でリアバンパーに取り付ける。



10. リア リーンホース基部下側の車両ボルトを片側2ヶ所取り外す。

※取り外した車両ボルトは再利用しません。

[後面視]



車両ボルト  
※再利用しない

※L側も同様

11. リア リーンホース基部下側に⑩ブラケットBを⑪ボルトで固定し、指定トルクで本締めする。その際、下図①の位置に調整すること。

※無限 パフォーマンスダンパー取り付け車両は、下図②の位置に調整すること。

確認

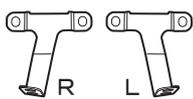
無限パフォーマンスダンパーを同時装着する際は、無限パフォーマンスダンパーの取付・取扱説明書をご参照下さい。

[使用部品]

⑩ (各1)

⑪ (4)

※パフォーマンスダンパー付属



ブラケットB



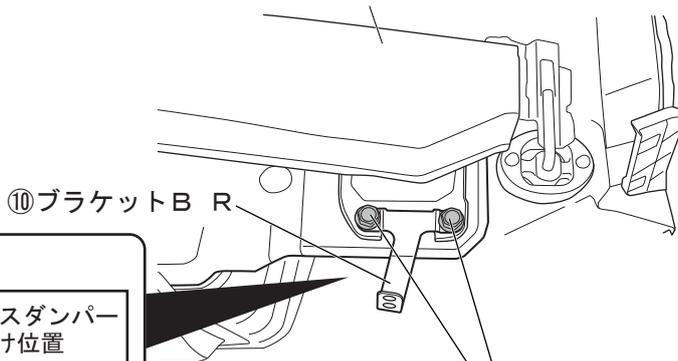
ボルト (M8)



ボルト (M8)

[後面視]

リア リーンホース



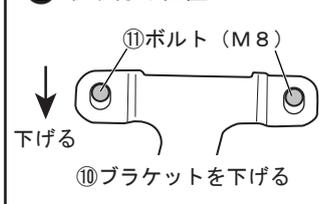
⑪ボルト (M8)

トルク : 22N・m (2.1kgf・m)

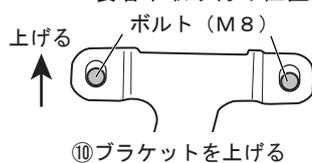
※L側も同様

⑩ブラケットB取り付け高さ調整

① 取り付け位置



② 無限 パフォーマンスダンパー装着車取り付け位置



※無限 パフォーマンスダンパー取り付け時はパフォーマンスダンパー付属のボルト (M8) を使用すること

12. ⑧マフラーガーニッシュ裏側に⑫スクエアヘッドボルトを片側1ヶ所取り付ける。

[使用部品]

⑧ (各1)

⑫ (2)

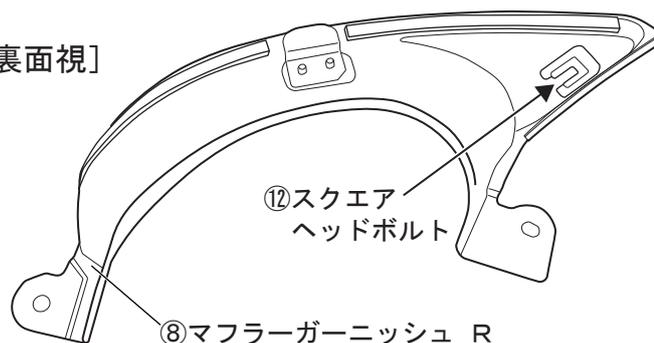


マフラーガーニッシュ



スクエアヘッドボルト

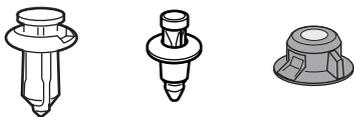
[裏面視]



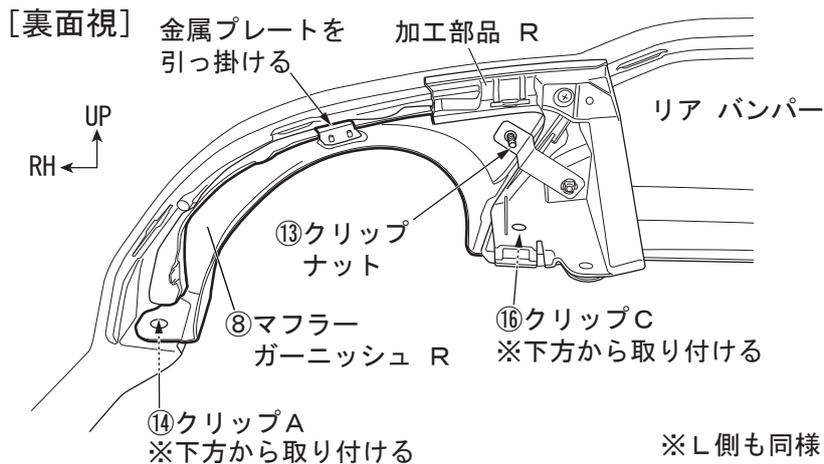
1 3. ⑧マフラーガーニッシュをリアバンパーに仮あてし、下面を⑭クリップA、⑯クリップCで固定し、裏側から⑬クリップナットを仮締めする。

[使用部品]

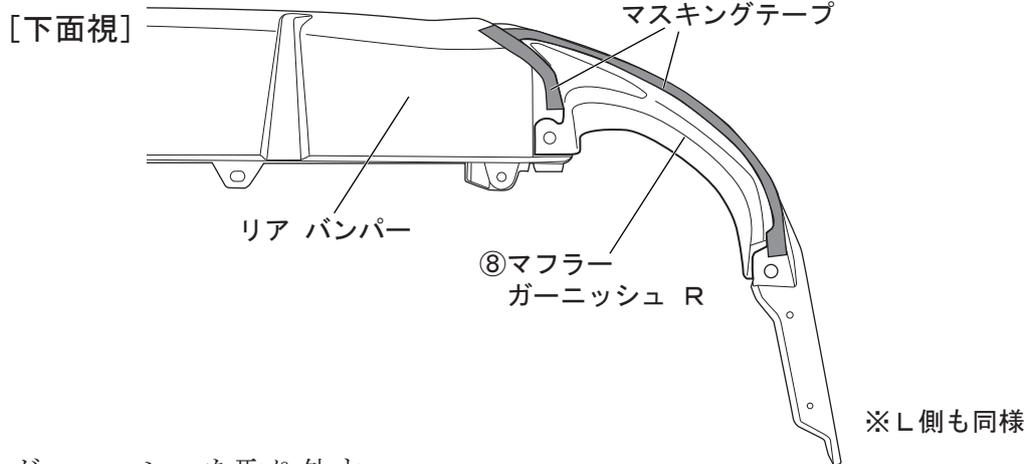
⑭ (2)      ⑯ (2)      ⑬ (2)



クリップA      クリップC      クリップナット



1 4. ⑧マフラーガーニッシュの上端に合わせてリアバンパーにマスキングテープを貼り付ける。



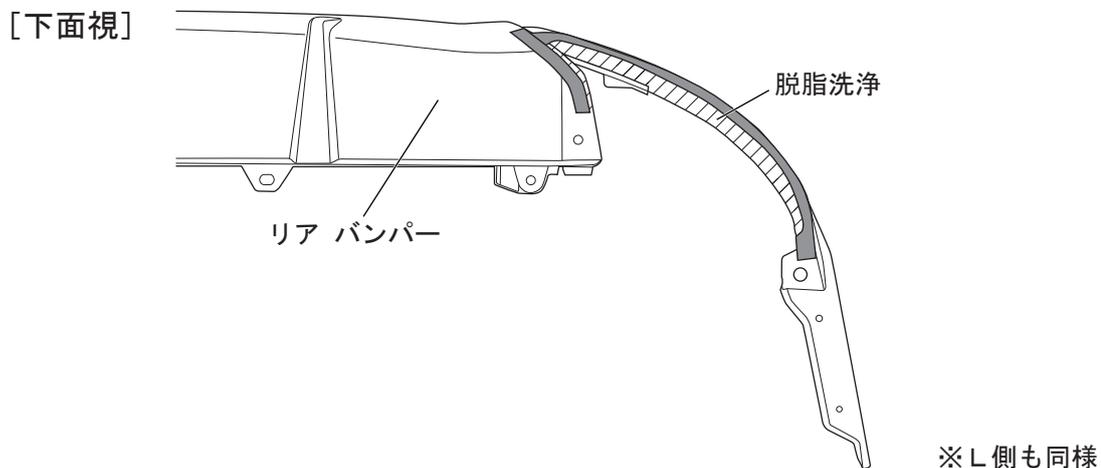
1 5. ⑧マフラーガーニッシュを取り外す。

### Ⅲ. マフラーガーニッシュの取付

《注意》 ・マフラーガーニッシュおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低1日以上は水がかからないようにすること。

1. リアバンパーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



2. 下図■部に⑰PACプライマー K-500を塗布する。その際、塗装面にはみ出さない様に注意すること。  
また、⑰PACプライマー K-500は、付属の説明書に従い扱うこと。

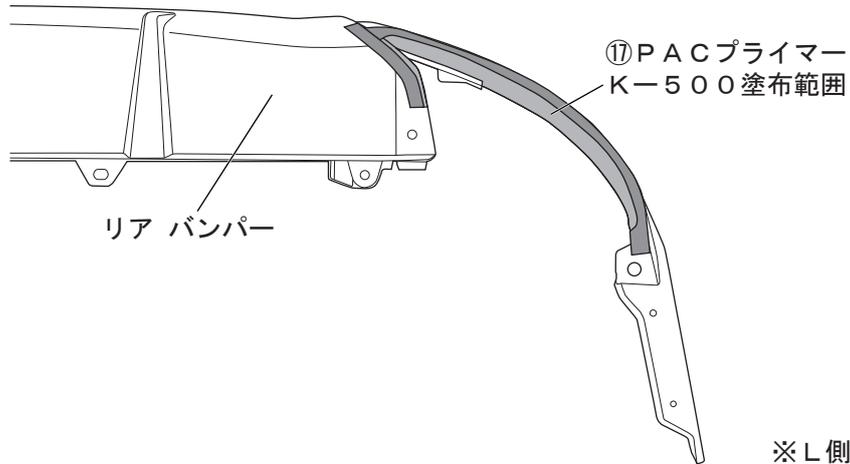
[使用部品]

⑰ (1)



PACプライマー  
K-500

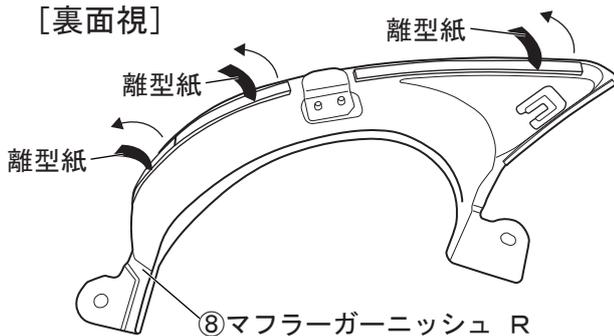
[下面視]



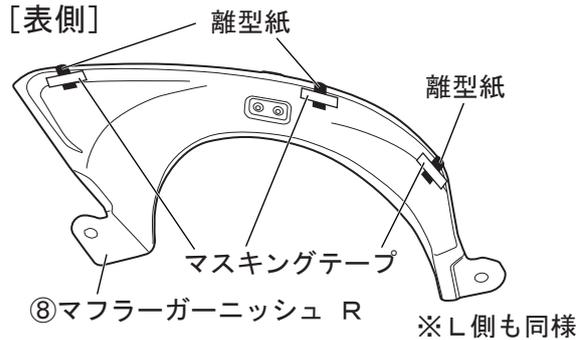
※L側も同様

3. マスキングテープを剥がす。  
4. ⑧マフラーガーニッシュの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。

[裏面視]



[表側]



※L側も同様

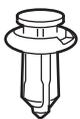
5. ⑧マフラーガーニッシュをリア バンパーに仮あてし、下面を⑭クリップA、⑯クリップCで固定し、裏側から⑬クリップナットを仮締めする。

[使用部品]

⑭ (2)

⑯ (2)

⑬ (2)

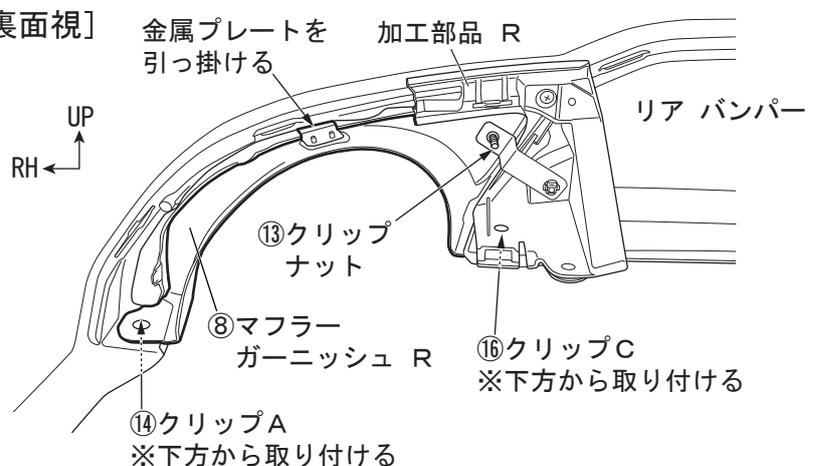


クリップA

クリップC

クリップ  
ナット

[裏面視]



※L側も同様

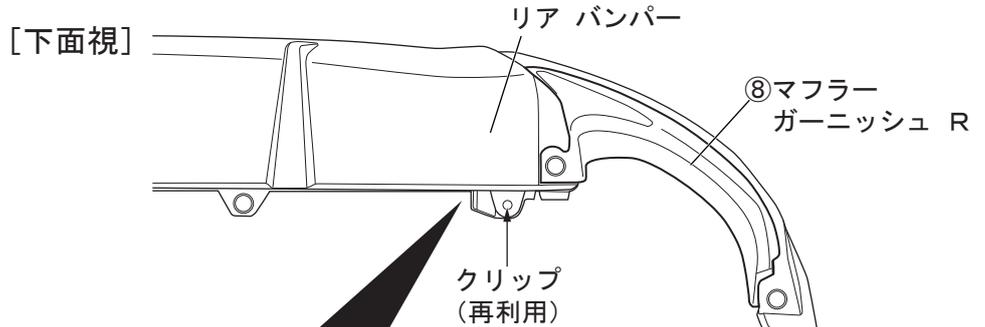
6. リア バンパーを車両に復元する。(サービスマニュアル参照)  
 下面車両クリップ(再利用)は下図を参照し、⑩ブラケットBの穴位置を確認して取り付けること。

[使用部品]

(2)



クリップ  
(再利用)

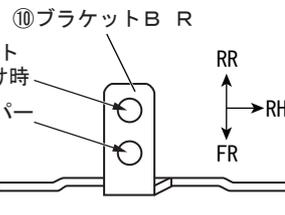


⑩ブラケットB R

スポーツ エキゾーストシステムのみ取り付け時  
 パフォーマンスダンパーとの取り付け時



[下面視]



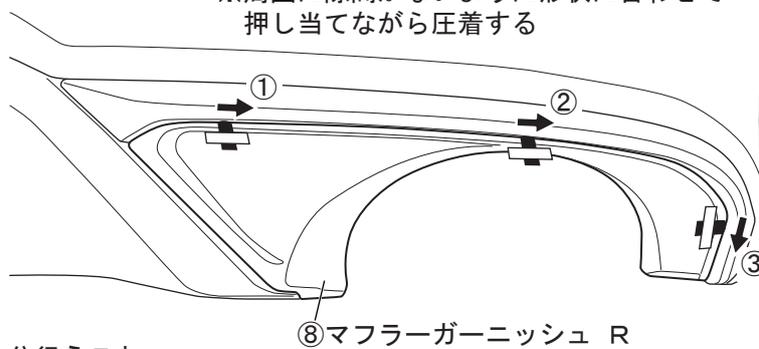
※無限 パフォーマンスダンパーとの同時装着をする際は、車両進行方向前側の穴にクリップ(再利用)を取り付けること

※L側も同様

7. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。

※周囲に隙間がないように形状に合わせて押し当てながら圧着する

[後面視]



※L側も同様

※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、マフラーガーニッシュの浮き剥がれの原因となります。

注意

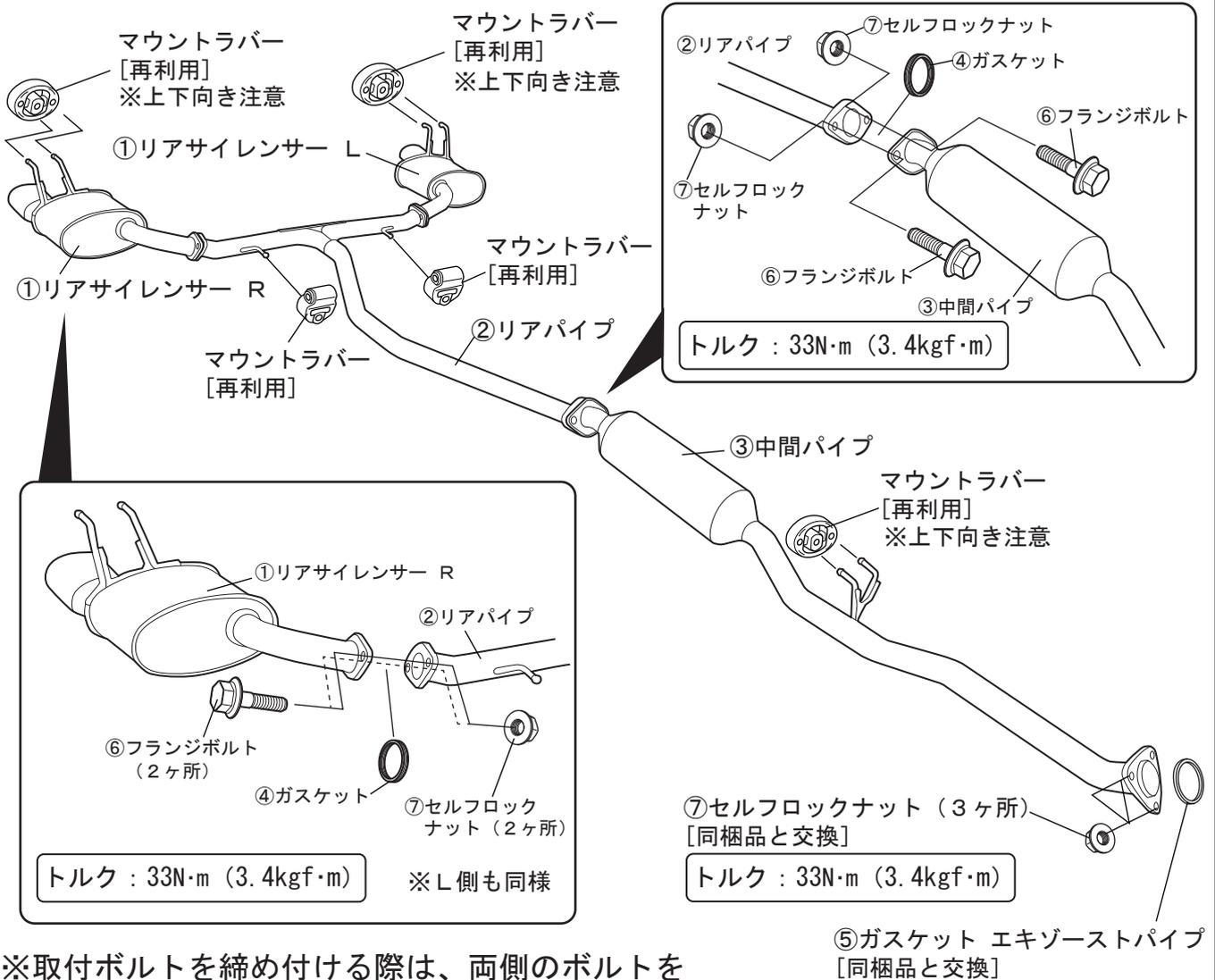
接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

8. ⑬クリップナットを本締めし、取り付け状態が完全か確認する。

#### IV. 無限 スポーツ エキゾースト システムの取付

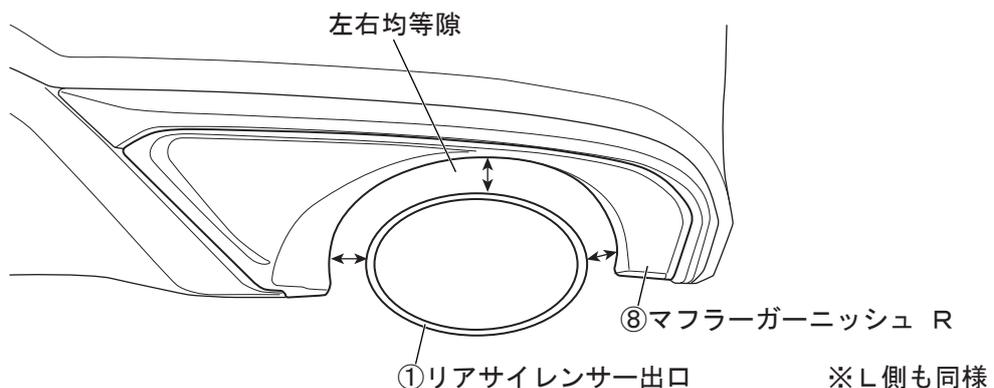
- 《注意》・無限 スポーツサイレンサー及び車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。  
 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。  
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。  
 ・マウントラバーを脱着する際に潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去してマウントラバーが動かないことを確認すること。

1. 取り外しと逆の手順で①リアサイレンサー、②リアパイプ、③中間パイプを取り付ける。



※取付ボルトを締め付ける際は、両側のボルトを交互に締め付ける。

2. ①リアサイレンサー出口と⑧マフラーガーニッシュの取り付け位置が左右均等になるよう調整する。

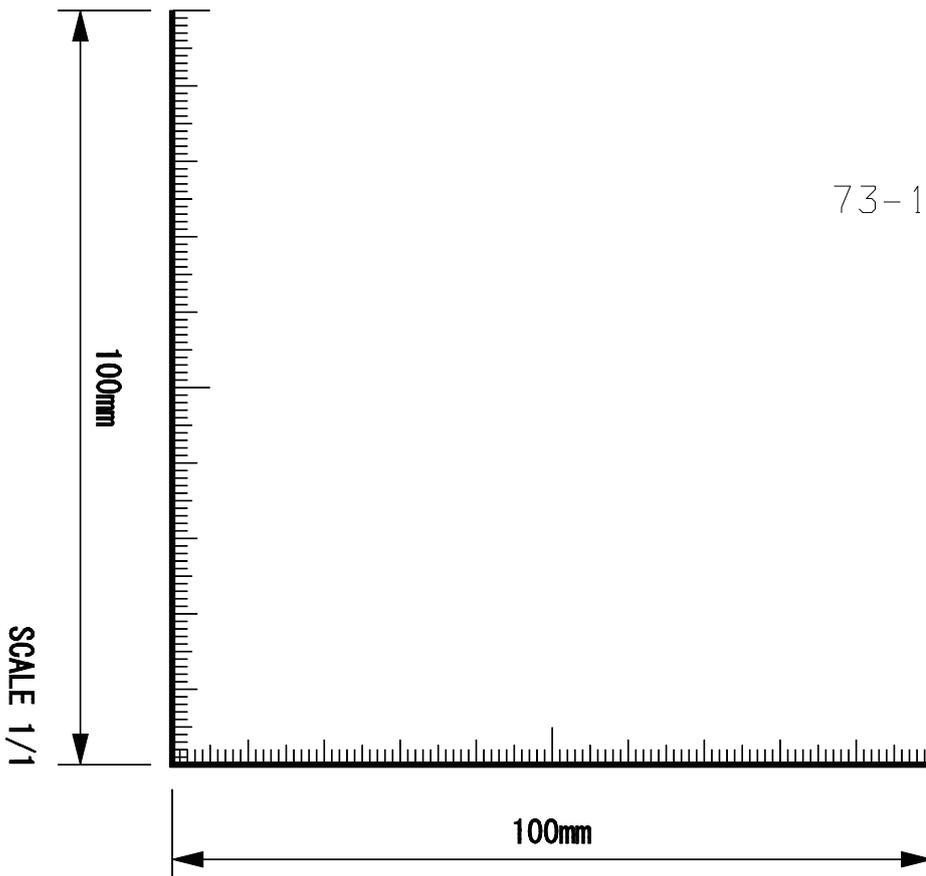


3. 各部の取り付け状態が完全か確認する。

マフラーガーニッシュ 穴あけ用型紙  
Muffler Garnish template sheet

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。  
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.

(18500-XNR-0000)



73-18500-XNR-0000-A00